

JICA 食と農の協働プラットフォーム (JiPFA)
スマートフードチェーン (SFC) 分科会
＜第 2 回分科会のご案内 8/18 (火) 15:00～16:30＞

「開発途上国におけるスマートフードチェーン開発の現状と可能性」

1. 分科会設置の背景・目的

日本国内では Society5.0 の実現に向けて、昨年 4 月から農研機構が運営主体として農業データ連携基盤 (WAGRI) が運用を開始しており、農林水産省、内閣府、農研機構、民間企業や大学等で、スマート育種 (ゲノム育種など)、スマート農業 (ドローン、無人農機、衛星技術等)、スマート加工・流通 (先端マテリアルハンドリング、ブロックチェーン等) と消費 (FINTECH 等) さらには輸出の情報をつなぐ、スマートフードチェーン (SFC) の構築に向けた取り組みが進んでいるところです。

一方、開発途上国を含む海外においても SFC のそれぞれの工程における技術革新・導入は急速に進んでおり、Agriculture 4.0 の推進を政策として打ち出し、様々な取り組みが進められており多くのスタートアップ企業が生まれています。

JICA は、既に約 20 か国を対象に 40 案件以上の農業・農村 DX/スマートフードチェーンに関する個別要素技術の実証事業を実施しており、日本との間でスマートフードチェーンの共創を志向する国も現れております。

今次 COVID-19 禍の影響も受け、今後、このような DX 技術の活用は更に推進されることが予想されており、未だかつていない速度で農村における技術革新が展開されていくであろう中、JICA としては開発途上国の最新のニーズと日本が提供できる技術の共創・マッチングを行う場を創出し、今後のしかるべき案件の形成・実施にむすびつけていきたいと考えており、本分科会を立ち上げました。

2. 第 2 回分科会の概要

2019 年 9 月に開催した第一回の会合を受け、JICA はスマートフードチェーンに係る基礎情報収集調査を実施し、国内及び東南アジア、南アジア、南米、アフリカの 7 か国を対象に調査を実施するとともに、同調査の結果を基に今後の取り組みの方向性を具体化させております。今回の第二回会合では本調査にご助言いただいた東京農工大学の澁澤特任教授より基調講演を行って頂くとともに、JICA より調査結果を共有、及び今後の取り組みの方向性について紹介し、産官学での協働にむけて意見交換を行いたいと考えております。

3. 日時

2020 年 8 月 18 日 (火) 15:00～16:30 (90 分)

4. 方式

WEB 会合 (Teams) にて開催

5. プログラム案

- 主催者挨拶(JICA)
- 基調講演 (with/post COVID-19 社会における Cyber Physical Farming の可能性)
東京農工大学 澁澤特任教授
- 農村・農業 DX/SFC 共創に向けた開発途上国のニーズと JICA の取り組み方向性
JICA 経済開発部
- 農村・農業 DX/SFC 共創に向けた JICA 帯広の取り組み事例紹介
JICA 帯広
- 質疑応答
- 閉会

6. 参加対象者

開発途上国におけるスマートフードチェーンを活用した事業展開に関心のある民間企業・業界団体、大学・研究機関等。

本分科会への参加をご希望で、JiPFA に登録されていない皆様は、是非 JiPFA への会員登録をお願いいたします。JiPFA のご登録は[こちら](#)をご覧ください。

7. 参加お申込み方法

2020 年 8 月 11 日 (火) までに、必要事項 (①分科会名 : JiPFA/スマートフードチェーン、②所属先、③所属部署・役職、④ご出席者氏名、⑤ご連絡先 : 電話番号及びメールアドレス = 申込時アドレスと異なる場合) をご記載の上、下記担当宛に電子メールにてお申し込みください。

8. お申し込み先

独立行政法人 国際協力機構（JICA） 課題部支援ユニット

メールアドレス : Kadaishien_chosei@jica.go.jp

（注）頂いた個人情報は、本分科会に関するご連絡にのみ使用させていただきます。

9. 本件照会先等

ASEAN・FVC 分科会事務局

JICA 経済開発部農業・農村開発第 1 チーム

神崎 茜 E-mail : Kanzaki.Akane@jica.go.jp

Tel : 03-5226-8446